



Daiichi Lifeグループで働く魅力 ブックレット

すべての社員が生き生きと個性を発揮し活躍できる世界へ



目次

Daiichi Lifeグループで働く魅力とやりがい	3
パーパス&バリューズを支える4つの柱	4
Employee Philosophy Statement「Daiichi Lifeグループで働く人を考える」	5
会社と社員が共に創り出す価値	6
1. 成長 GROW	7
2. 安心 PROTECT	13
3. 共創 BELONG	18
4. 幸せ BE WELL	24
グループ各社の様々な取組み	29
グループの取組みを推進するグローバル体制	30
索引	31

あなたが働く上で大切なものは何ですか？
あなたはどんな時に働きがいを感じますか？

Daiichi Lifeグループの一員であることを通じて、生き生きと、前向きに日々を過ごしていけると
すべての社員に感じてほしい。

そういう社員一人ひとりの想いや力が土台となって、私たちのパーパスは実現していくと考えています。
そのために、私たちは、社員の皆さんがこの会社で働くことに魅力ややりがいを感じられるよう、
あらゆる機会や体験の提供に力を注いでいるのです。

このブックレットでは、Daiichi Lifeグループが各国、各社で実践している、様々な価値を提供するための取組みを紹介しています。
新たなチャレンジや成長。

社会貢献を通じて感じられるつながり。

仲間とともに何かを達成する喜び。

日々の生活を心も身体も健やかに暮らす幸せ。

私たちの仲間が、どんな活動を通じて、この会社で働く価値を感じられているのか、ぜひ知ってほしい。
そして、それらをヒントに、あなた自身の職場でも様々な機会を見つけて、ぜひ体験、実践してほしい。

Daiichi Lifeグループは、このブックレットをきっかけに、あなた自身の可能性がもっと広がることを願っています。

*これらの取組みは、EVP (Employee Value Proposition 従業員価値提案) と呼ばれるものです。Daiichi Lifeグループは、多様な社員一人ひとりが生き生きと個性を発揮し、
活躍し続けることのできる会社を目指し、EVP を推進しています。

パーパス&バリューズを支える 4つの柱



Daiichi Lifeグループのパーパス(グループの社会における存在意義)、バリューズ(大切にしている価値観)を実現する主体となるのは、グループで働く一人ひとりの社員です。当社は、成長(Grow)、安心(Protect)、共創(Belong)、幸せ(Be Well)の4つの柱の活動を通じて、社員を支援し、グループを支える土台の強化に取り組んでいます。

Daiichi Lifeグループは、100年を超える歴史のなかで、「一生涯のパートナー」として働く私たちが大切にしてきた想いを言語化し、全世界のグループ社員と共有するためにEmployee Philosophy Statement「Daiichi Lifeグループで働く人を考える」を発信しています。

国や会社を超えて全世界の社員にチャンスやチャレンジの場を提供し、成長した社員がグループの価値を高める姿、会社と社員が共に成長し、高め合う関係を描いています。

Daiichi Lifeグループで働く人を考える

成長は、自分ひとりで成し遂げるものではありません。
私たちの100年を超える歴史と経験が教えてくれるように
成長とは、多くの仲間とのつながりの中で生まれるもの。

Daiichi Lifeグループは、あなたのパートナーとして
共に成長し、皆で高め合い、互いに成功を支援し
今も、そしてこれからもすべての人々の幸せを守り、高めます。
あなたがグループのどこにいても、そしてグループのどこへ行っても
私たちは共に歩み、皆ですべての社員が生き生きと個性を発揮し
活躍できる世界（World of Opportunities）の扉を開いていきます。

Daiichi Life Group Employee Philosophy Statement

会社と社員が共に創り出す価値

Daiichi Lifeグループが大切にし、共に働く社員と一緒に創り出していきたい価値は「成長：GROW」、「安心：PROTECT」、「共創：BELONG」、「幸せ：BE WELL」の4つの柱で構成されています。



成長

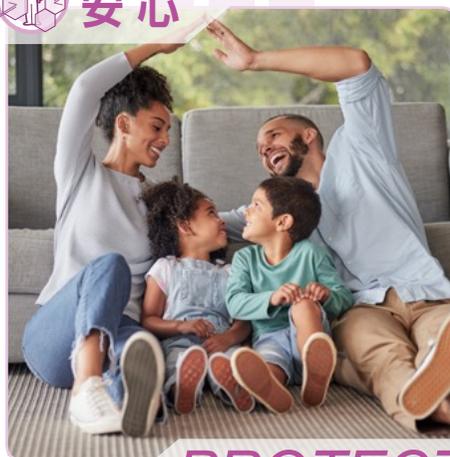


GROW

私たちは、社員が新たなスキルと意欲を高め続けられるよう、一人ひとりが成長に向けて挑戦し、皆で高め合い、新しい可能性を生み出すことができる環境をつくります。



安心



PROTECT

私たちは、現在、そして未来に向けて、お客さま、地域社会、そして社員を守ります。



共創



BELONG

私たちは、社員の多様性を大切にします。互いに尊重し、異なる意見に耳を傾け、共にベストを問いつけることのできる文化をつくります。



幸せ



BE WELL

私たちは、社員が日々生き生きと自分らしく働くことのできる安心安全な職場環境をつくります。



ステートメントに込められた「成長」の支援に関するポイント

長い歴史を持つグループの知識や経験を活用し、多様な仲間と出会い、つながることで、より大きな成長を実現することができます

Daiichi Lifeグループで働く人を考える

成長は、自分ひとりで成し遂げるものではありません。

私たちの100年を超える歴史と経験が教えてくれるように

成長とは、多くの仲間とのつながりの中で生まれるもの。

Daiichi Lifeグループは、あなたのパートナーとして

共に成長し、皆で高め合い、互いに成功を支援し、

今も、そしてこれからもすべての人々の幸せを守り、高めます。

あなたがグループのどこにいても、そしてグループのどこへ行っても

私たちは共に歩み、皆ですべての社員が生き生きと個性を発揮し

活躍できる世界（World of Opportunities）の扉を開いていきます。

Daiichi Life Group Employee Philosophy Statement

共に挑戦し、刺激を与えあい、互いに協力しあって高みを目指していける仲間がいます

自分の所属する組織や国境を越えて、成長を支援する取組みが行われています



成長 GROW

グローバル・ジョブポストイング

会社や国の枠を超えてあなたの成長を支援する取組み「グローバル・ジョブポストイング」に参加したメンバーの体験談を紹介します。

グローバル・ジョブポストイング

TAL → 第一ライフグループ (本社) へ出向した事例

グローバル・ジョブポストイングを通じて、多様な文化間で協働することを経験し、異なる働き方に対応する力を強化することができました。



Katie Tong (TAL)

グローバル・ジョブポストイングへの参加は、私にとって非常に貴重な経験となりました。TALから日本本社に来て、日本に身を置くことで、現地の文化だけでなく、第一ライフがグローバルにグループ各社とどのように繋がっているかを理解することができました。デジタルイノベーショングループの業務では、シンガポールで開催された InsureInnovator Connect Asia でパネリストを務めたり、各国から集まった26名を対象とする DINO (Daiichi Innovation) プログラムを運営したりと、さまざまな機会に恵まれています。これらの経験を通じて、多様な文化が交わる中で協働し、異なる働き方に対応する力を強化できていると感じています。また、オーストラリアの働き方における明確なコミュニケーション、オープンさ、積極的な調整といった側面をもたらすことで、少しでも貢献できていればうれしいです。金曜日の午後4時に飲み会を取り入れる試みは、未だ挑戦中です！
仕事以外では、日本で暮らす中で四季の移ろいを楽しむことがお気に入りです。色彩や雰囲気、旬の食材、さらにはスターバックスの季節限定ドリンクまで、年間を通じて本当に個性豊かです。今後は、グローバルチームの連携をさらに強化し、共通の働き方を築くことに貢献したいと考えています。国境を越えたコミュニケーションの改善を図り、Daiichi Lifeグループ全体を支える、より連携の取れたイノベーションの実践につなげていきたいと思っています。



プロテクトィブ → 第一ライフ・アジアパシフィック へバーチャル出向した事例

第一ライフ・アジアパシフィックでマーケット・インテリジェンス・グループのアシスタントマネージャーとして働いたことは特別な経験でした。



Muhammad "Harris" Hashmi (プロテクトィブ)

数か月の間に、詳細なレポートを作成し、素晴らしい人々と有意義な関係を築くことができました。この経験は、保険業界についてグローバルに知識を広げただけでなく、企業が戦略的に新しい地域市場を調査・開拓する方法についての深い洞察も提供してくれました。



グローバル・ジョブポストイングは、社員が自ら手を挙げ、国を越えて専門性を発揮し、多様性を学び、視野を広げることのできるプログラムです。グループ各国・各社で実施されており、共に成長し、高め合い、成功を目指す風土づくりにつながっています。



グループ各社が革新的なビジネスアイデアを出し合ってイノベーションを起こし、保険業界の変革に取り組んでいます。

デジタルイノベーションファンド (DIF)

グローバル 



イノベーションを通じた保険業の変革 (Reimagine Insurance) を目指し、国内外グループ各社を対象に、中長期的なグループの新規組織能力獲得に資する革新的なビジネスアイデアの実証実験を支援するデジタルイノベーションファンド(DIF)を2021年度より運営しています。この取組みを通じて、「グループシナジーの実現(中長期的なイノベーション能力の構築・複数の市場に適用可能なソリューションの探求と導入)」と「短期的には成果が見えにくい重要な研究開発の推進」を目指しています。設立以来、国内外15のグループ会社から計112のアイデアの応募があり、その内60のアイデアを支援しています。2025年、運営開始から5年という節目を迎え、私たちはグループ全体で変革とイノベーションを継続的に推進し、さらなる事業の将来性を確保していきます。



Tran Ba Duy
(第一生命ベトナム)

イノベーション・ファンドは、リソースを提供するだけでなく、プロセス全体を通じて洗練・調整・改善を行う安心感ももたらしました。

第一生命ベトナムは、オンラインを用いた銀行窓口保険販売が、ローンを利用していない顧客層にどのようにリーチできるかを、現地に適した方法を通じて検証するため、イノベーションファンドに応募しました。これは、DIFがグループ全体の他の事業部門が後に適応できる実践的なモデルを構築するというDIFの取組みに貢献するものです。

私たちにとってイノベーションとは、検証済みのアイデアを付加価値のある実践へと変革することです。やりながら学び、目的を持って実行することです。ファンド終了後も、今回のプロジェクト経験を将来のデジタル成長を支える「生きた実践的事例」として維持します。

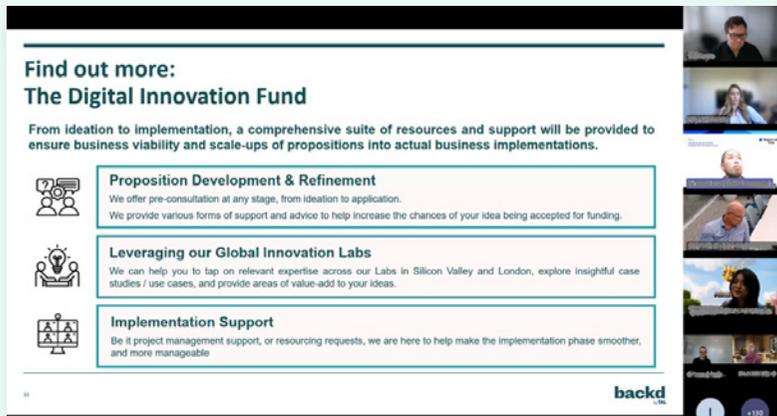


Kajal Singh
(スター・ユニオン・第一ライフ)

DIFのおかげで、素早くプロトタイプを作り、じっくりと改善し、共感性と拡張性を兼ね備えた機能を実現できました。

私がイノベーション・シードファンドに応募したのは、第一ライフが社員に境界を越えて考え、大胆なアイデアに挑戦することを促す強力なプラットフォームを築いているからです。このオープンで信頼に満ちた文化に触発され、小さなアイデアでも、適切な支援があれば意味のある変化を生み出せると信じて、今回のプロジェクトに取り組む決意をしました。

個人的には、この取組みを通じて自信が付き、リスクを取る意欲が高まりました。また、失敗の可能性があっても挑戦する機会を与えられたことで、レジリエンス (しなやかさ) も強化されました。このプラットフォームは、前提や制約に疑問を投げかけ、新しい環境で成長するためのマインドセットを育むエコシステムを提供してくれました。





次世代リーダーに必要な知識やスキルを養うための教育プログラムや、海外派遣型研修を中心としたグローバルの協働プログラムなど、幅広いプログラムを提供しています。

TAL新入社員研修（2年間OJTプログラム）

TAL 

私にとってプログラムのハイライトは、日本スタディツアーへの参加でした。親会社について理解を深め、第一ライフグループの皆さんと直接会う機会を得られたことに心から感謝しています。



Serena Lo

私はTALでインターンとしてキャリアをスタートし、その後新入社員研修に参加しました。TALが次世代の人材育成に力を注いでいることを、身をもって実感しています。このプログラムに参加するという選択は、間違いなく後悔のない決断でした。

プログラムを通じて、さまざまな部門を経験し、視野を広げることができただけでなく、強固なネットワークを築くことができました。生命保険業界でのキャリアがどのようなものか、より深く理解できたことは大きな収穫です。多様なローテーションを通じて、実務に貢献しながら新しいスキルを習得し、各分野の専門家から多くの知見を得ることができました。

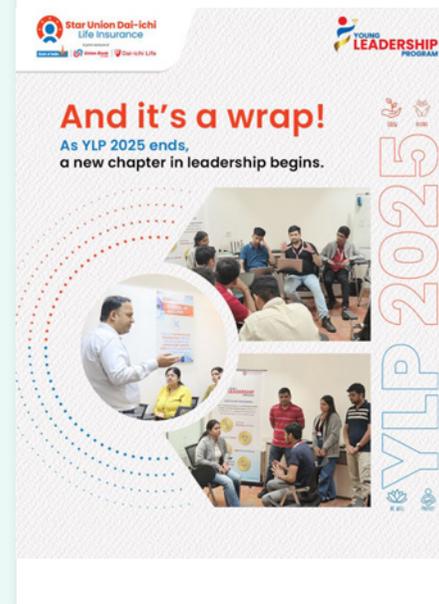
特に印象的だったのは、日本スタディツアーに参加し、第一ライフグループ本社を訪問したことです。これは私にとって忘れられないキャリアの節目となりました。この体験を通じて、文化的背景を理解し、グローバルな仲間と自信を持って協働するための異文化対応スキルを高めることができました。現在、私はTALで正式なポジションに就き、組織全体にポジティブな影響を与えられるよう努めています。今後も成長を続け、新たな挑戦に取り組みながら、より多くの仲間とつながりを築いていきたいと考えています。



TALの2年間にわたる新入社員研修プログラムは、専門知識の強化、ネットワーク構築、そして実践的な経験を積むことを目的としています。参加者は、4つの多様なローテーションを通じてスキルを活用し、プロジェクトやチームの日常業務に積極的に参画します。強固な専門基盤を築くため、3つのローテーションは参加者の専攻分野に沿って設定され、残りの1つは学歴や専攻分野に関係しない領域で経験の幅を広げることを目的としています。

SUDヤングリーダーシップ・プログラム

スター・ユニオン・第一ライフ 



リーダーシップは好奇心から始まり、経験を通じて育っていくもの。ヤングリーダーシップ・プログラムはまさにそのための場—探求し、関わり、成長するための空間を、若手社員に提供します。毎年のプログラムは、受講生にとって変革の旅の始まりとなります。このプログラムは、柔軟で、価値を追求し、未来に備えたリーダーを育成することを目的に、綿密に設計されています。組織を幅広く理解し、より強い使命感を持てるよう支援し、受講生をサポートします。



リーダーシップ・スキルの向上や、グローバルな仲間とのネットワークの構築、シナジーの創出を目的とした、グループ全体および地域ごとのリーダーシッププログラムがあります。

グローバルリーダーシッププログラム(GLP)

グローバル

グローバルな仲間とともに、グループ経営について学び、知識を深めながら、コラボレーションを促進することのできる素晴らしい機会です。

研修での学びを活かし、グローバルで通用するリーダーシップを発揮していきたいです。



多様なグループ会社から集まったリーダーとの協働により新たな知見を得、ネットワークを構築できました。



アクションラーニングを通じて、グローバル企業としての経営について考え、提案することができました。



2018年より、グループ各社の次世代を担うことが期待される人財を対象に、グローバルな経営視点の獲得を目的として、グローバルリーダーシッププログラム (GLP) を展開しています。各国から集まった参加者は、共に学びあい、会社の成長をけん引するビジネス実践力を養うとともに、グループ経営に寄与する課題に取り組みながら、国を超えてネットワークを構築しています。

リージョナル・ストラテジック・リーダーシッププログラム

第一ライフ・アジアパシフィック



Sokun Y
(第一ライフ・カンボジア)

このプログラムは、私のリーダーシップスキルを大きく向上させ、成長を後押ししてくれる素晴らしいトレーナーやコーチ、そして第一ライフのメコン地域のリーダーたちとのつながりを築く機会を与えてくれました。

昨年の「リージョナル・リーダーシップ・ディベロップメント・プログラム」と、今年の「リージョナル・ストラテジック・リーダーシッププログラム」という、ホーチミンで参加した2つのプログラムは、私に



とってまさに変革をもたらすものでした。これらのプログラムは自己探求の旅を促し、リーダーシップへの理解を深めるとともに、その原則を実践に活かす力を強化してくれました。

プログラム前後に行われた、優れたトレーナーやメコン地域のリーダーたちとの活発なセッションを通じて、自信を持ってリーダーシップを発揮するための実践的な戦略を習得しました。また、研修後のコーチングにより、これらの学びが一層定着しました。本プログラムへの参加は、個人的な成長にとどまらず、メコン地域のリーダーたちとのネットワークを広げ、成功のための基盤を築き、国境を越えた協働を促進する機会となりました。

このプログラムは、メコン地域のリーダーたちのリーダーシップ能力と戦略的思考の強化を目的に設計されています。形式的な学習セッションを超えて、ネットワーキングの貴重な機会を創出し、知識交換を支援する環境を提供することで、リーダー同士が洞察を共有し、互いに学び合い、より強固でつながりの深いリーダーシップコミュニティを築くことを可能にしています。



成長 GROW

グループ各社のユニークな成長機会

グループの仲間とともに、ワークショップやディスカッションを通じて知識やスキルを向上させ、誇りを持って仕事に向き合うことで、一人ひとりが成長できる環境を整えています。

InsightXシリーズ

第一生命ベトナム

InsightXシリーズは、eラーニングプラットフォーム上で提供される、スムーズで主体的な学習を支援する優れた取り組みです。これらのコンテンツが社内ネットワーク全体に広がることで、その価値が最大限に高められています。また、提供される知見は、現場のニーズに直接応えています。



Mai Nguyen

InsightX

Expertise - Engage - Empower

InsightXシリーズは、社内講師によるコンテンツ共有を通じて、多くの社員にとってお気に入りの学習ハブとなっています。LOMAのアプローチと第一生命ベトナムの成長文化に触発され、部門横断的な協力をより効果的に支える機能的スキルへのニーズに応えています。各エキスパートによる5分以内のポッドキャストは、生産性の最適化、イノベーションの促進、そして生涯学習習慣の強化に役立つ実践的な知見を提供しています。2025年11月までに、520名以上の社員が学習モジュールを修了し、役立ったとの評価は96%に達しました。InsightXは「素早く学び、行動し、共に成長する」ことを支援し、日々の学びを皆の革新と進化の旅へと変えています。



InsightXシリーズは、社内の専門スキルを最大限に活かすための戦略的な学習イニシアチブです。専門家による動画コンテンツを通じて、基礎的なスキルから機能別の専門知識まで幅広く強化し、成長とエンゲージメントを促進する文化を育みます。多様な学習チャネルを提供し、社員が「いつでも、どこでも」学び、実践し、進化できる環境を整えています。

FlashLearn

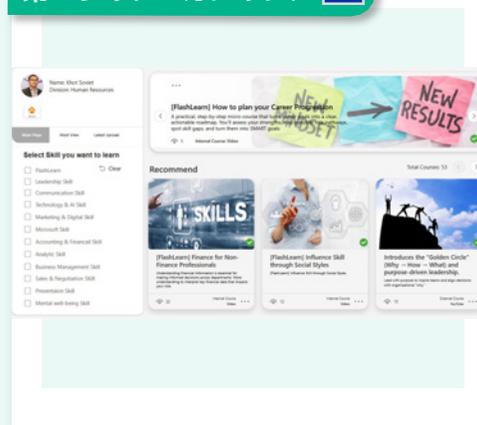
第一ライフ・カンボジア



FlashLearnは、月に1回開催される、短時間で様々なことを学べるセッションです。学習者をリソースやスキル、実体験へとつなげることを目的としています。また、「ちょっとした知識」や「役立つヒント」を重視しており、どんな社員にとっても魅力的な内容になっています。

Eラーニングポータル

第一ライフ・カンボジア



社員の学びと成長を支援する取り組みの一環として、全社員向けに「Learning Hub」(eラーニングポータル)を開発しました。このポータルでは、幅広い自己学習コンテンツをオンラインで、いつでもどこでも利用できます。さらに、学習履歴の把握や達成状況の更新も可能で、社員一人ひとりが主体的にスキルアップやキャリア形成に取り組める仕組みとなっています。



ステートメントに込められた「安心」の支援に関するポイント

現在、そして未来に向けて、
お客さまや地域社会、
社員を含む全ての
ステークホルダーを守る
取り組みを推進しています

Daiichi Lifeグループで働く人を考える

成長は、自分ひとりで成し遂げるものではありません。
私たちの100年を超える歴史と経験が教えてくれるように
成長とは、多くの仲間とのつながりの中で生まれるもの。

Daiichi Lifeグループは、あなたのパートナーとして
共に成長し、皆で高め合い、互いに成功を支援し

今も、そしてこれからもすべての人々の幸せを守り、高めます。

あなたがグループのどこにいても、そしてグループのどこへ行っても
私たちは共に歩み、皆ですべての社員が生き生きと個性を発揮し
活躍できる世界（World of Opportunities）の扉を開いていきます。

Daiichi Life Group Employee Philosophy Statement



教育や福祉、文化、環境など地域の課題に対応した支援活動やチャリティーイベントを通じて、地域社会に貢献しています。

プロテクトィブ財団コミュニティサービス

プロテクトィブ 



Melissa Croak

メンタルヘルスは誰にとっても身近な問題です。私たち自身の健康を守り、困難に直面している人々を支援するためにも、メンタルヘルスに関する活動の機会を継続して持つことが大切です。



今年、プロテクトィブ財団は「奉仕週間」においてメンタルヘルスの課題に焦点を当てました。メンタルヘルスは誰にとっても身近な問題です。困難に直面している人々を支援し、私たち自身の健康を守るためにも、継続的に活動することが重要です。今回の取組みの中で、私たちはメンタルヘルスの支援を行う団体と協力し、サポートを必要としている人々へのボランティア活動を行い、心の健康の大切さを啓発することに貢献しました。これらの活動は、地域社会や仲間を思いやる私たちの姿勢を示すものです。メンタルヘルスへの支援は、奉仕週間だけの特別な活動ではなく、私たちが日々の生活の中で価値観を体現する行いの一つなのです。

プロテクトィブ財団は、福祉、環境改善、文化の向上といった問題に取り組むことで、地域社会を支援しています。金銭的な支援を行うだけでなく、社員が参加できる社会奉仕活動を企画しています。

Run By Heart charity run

第一ライフ・カンボジア 



Hak Kihong

Rabbit Schoolへの経済的な支援を行うだけでなく、自閉症の子どもたちに力を与え、誰もが支え合い、安心して暮らせる社会づくりを目指しています。

「Run By Heart」は単なるランニングイベントではありません。インクルーシブな社会を目指すソーシャルキャンペーンとして、認知向上やコミュニティの絆を深めることを目的に、カンボジア全体で展開されます。この取組みを通じて、Rabbit Schoolへの支援を行うだけでなく、自閉症の子どもたちに力を与え、誰もが支え合い、安心して暮らせる社会づくりを目指しています。

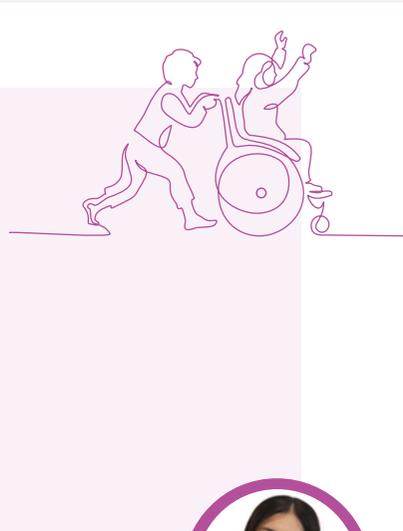
第一ライフ・カンボジアは、「Run With Sai」と提携し、チャリティーランイベント「Run By Heart」の独占スポンサーとして参加しています。このイベントは、Rabbit Schoolで学ぶ自閉症の子どもたちを支援する、意義ある取組みです。



経済的・社会的理由から十分な医療を受けられない人たちや必要な栄養を摂取できない人たちのために、ボランティアや寄付活動を通じた支援を行っています。

アンコール小児病院 (AHC) への寄付

第一ライフ・カンボジア



Sophat Sreypheak

第一ライフ・カンボジアは、社会に前向きな変化をもたらし、地域に貢献することを大切にしています。その一環として、年間10万人以上の子どもたちに無料で質の高い救命医療を提供するという、小児病院の使命を支援できることを誇りに思います。



第一ライフ・カンボジアは、アンコール小児病院 (AHC) への15,000ドルの寄付を発表しました。AHCは年間10万人以上の子どもたちに、無料で質の高い命を救命医療を提供することを使命としています。今回の寄付は、これまでの寄付活動や遊び場の整備、COVID-19の救援活動などを含む、AHCとの長年にわたるパートナーシップをさらに強化するものです。

献血ボランティアキャンプ

スター・ユニオン・第一ライフ



スター・ユニオン・第一ライフのオフィス敷地内で、生活困窮者のための献血キャンプが開催され、社員が自発的に献血に参加しました。このような献血キャンプは、社会における人命救助の支援に役立ち、国内の個人の生活に直接影響を与える最も優れた活動のひとつです。社員の参加は非常に心強いです。



安心 PROTECT

教育や健康への支援

人々、特に未来を担う子供たちがより良い教育を受け、生活水準を向上できるよう、経済的支援や金融教育、心身を豊かにするプログラムを提供しています。

マネー月間チャレンジ

パートナーズ・ライフ



金融教育を通じて個人の資産管理に自信を持たせることで、人々に金融行動を起こすよう促しました。



Monique Leonard

パートナーズ・ライフとBanqerは3年連続で、Banqer Beyondプラットフォームを利用したバーチャル金融教育体験をマネー月間(2025年8月)にニュージーランドの人々に提供しました。このチャレンジは2週間にわたって実施され、クイズ、動画、ウェビナーを通じて銀行業務、信用管理、予算管理、投資、貯蓄などの金融概念に触れることのできるものでした。また、純資産額、投資ポートフォリオ、貯蓄額が最も多かった参加者には賞品が贈られました。調査結果によると、70%以上の成人がこのプラットフォームを使用した後に自身の資産管理に自信を持ち、実際に金融行動を起こすつもりであることがわかりました。

パートナーズ・ライフは、バーチャル金融教育プラットフォームを提供するBanqerと提携し、ニュージーランドの金融に対する理解とリテラシーの向上を図ることで、ニュージーランドにおける保険不足の解消を目指しています。

口唇裂・口蓋裂プロジェクト

第一ライフ・ミャンマー

子どもたちに再び笑顔を取り戻し、親御さんに希望を届けられるとき、人生は本当に意味あるものになります。必要とされる支援を届け、全国で変化を起こすこの取組みを誇りに思います。



Suu Nwe Htun



第一ライフ・ミャンマーでは、子どもの健康を守ることを、より良い未来づくりへの重要な使命と考えています。すべての子どもが、住んでいる場所や家庭の収入に関係なく、必要な医療を受けられるべきだと信じています。私たちは口唇裂・口蓋裂 (CLCP) プログラムを支援し、恵まれない家庭の子どもたちに無料で矯正手術を提供しています。この取組みにより、子どもたちは身体的な健康を取り戻すだけでなく、自信と生活の質も回復することができます。

支援はネピドーとマンダレーから始まり、その後タウンジー、パテイン、バゴー、ミエイ、モーラミヤインへと広がりました。手術費用、必要な薬、術後のケア、さらに患者と付き添いの家族への食事支援まで、すべてを当社が負担しています。2023年から2025年にかけて、CLCPプログラムへの支援により、7都市で260人以上の子どもたちが治療を受けました。この取組みを通じて、当社は、子どもたちが経済的負担を感じることなく、尊厳をもって思いやりのある医療を受けられるよう努めています。

口唇裂・口蓋裂プロジェクトでは、治療費を負担できない家庭の子どもたちに、無料で手術を提供しています。これらの手術は、子どもの健康を回復させるだけでなく、自信を取り戻し、明るい未来への扉を開くものです。



かけがえのない自然環境や生物多様性を保護するため、グループ各社は水資源の保全や植樹、廃棄物処理など、地域の環境問題に対応した幅広い活動に取り組んでいます。

Dhartiプロジェクト

スター・ユニオン・第一ライフ

農業用溜池でのトゥールダル(キマメ)栽培により、農家は5万7千ルピーの純利益を上げ、生産性と収入を大幅に向上させることができました。



Kacharu Mangdare



Dhartiプロジェクトは、革新的な灌漑技術や関連施策を通じて農業のあり方を変革することを目的とした包括的な取組みです。本プロジェクトは、地下水位の向上、生産性の改善、水資源の保全に重点を置き、従来型農業から統合型農業への大きな転換を促しています。こうした取組みは、長年にわたり農業コミュニティの一人当たり所得の向上に寄与してきました。

(5万7千ルピー=約630ドル 2025年12月時点)

Dhartiプロジェクトでは、堆積土砂除去、点滴灌漑システムの設置、農場用池や地下水涵養井戸の建設、遮光ネットの設置、農業従事者のための研修、農業の財務管理などが進められています。

グリーンジャーニー

第一生命ベトナム



このプログラムでは、環境意識を高め、持続可能な暮らしを促進し、誰もがグリーンな生活を実践できるように多彩な活動を提供しています。



Tran Thi Hoi



グリーンジャーニーは、第一生命ベトナムの多くの社員にとって、日常に目的意識とイノベーションをもたらす意義ある取組みです。リデュース、リユース、リサイクルの「3R」を指針に、小さな行動を大きな成果へとつなげています。専用アプリを通じて、わずか4か月で180件以上のエコ活動が記録されました。

「種をまき、命を育む」活動では350名の社員が新しい緑の空間を創出し、「本の第二の人生」プロジェクトでは、本を必要とする子どもたちの居場所へ500冊の本が届けられました。私たちは、思いやり・創造性・生産性の文化を育みながら、サステナビリティが

一人ひとりの行動から始まり、共に歩むことで広がることを証明しています。

グリーンジャーニーは、社員に環境に優しい習慣を促すことで、Daiichi Lifeグループの「ネットゼロ移行計画」を推進しています。専用アプリを通じて、日々のエコ活動を記録し、持続可能なライフスタイルを広めるイベントも開催しています。



ステートメントに込められた「共創」の支援に関するポイント

多様な個性を持つ仲間が集まり、
個々の能力を高めあう中で、
新たな価値が創造されます

誰もが互いの違いを認め、
尊重し合い、安心して
活躍できる職場環境・
風土があります

Daiichi Lifeグループで働く人を考える

成長は、自分ひとりで成し遂げるものではありません。
私たちの100年を超える歴史と経験が教えてくれるように
成長とは、多くの仲間とのつながりの中で生まれるもの。

Daiichi Lifeグループは、あなたのパートナーとして
共に成長し、皆で高め合い、互いに成功を支援し

今も、そしてこれからもすべての人々の幸せを守り、高めます。
あなたがグループのどこにいても、そしてグループのどこへ行っても
私たちは共に歩み、皆ですべての社員が生き生きと個性を発揮し
活躍できる世界（World of Opportunities）の扉を開いていきます。

自分の所属する組織や
国境を越えて、
あらゆるバックグラウンドや
経験、考え方を活かし、
互いに高めあうことが
できます

Daiichi Life Group Employee Philosophy Statement



組織のさまざまなレベルで、社員同士が役割を超えて交流することが奨励されています。喜びの瞬間を分かち合い、共に楽しい時間を過ごすことで、会社全体に強い一体感と帰属意識が育まれています。

クメール正月のお祝い

第一ライフ・カンボジア



私たちは、プノンペン本社と各地の拠点で、T.E.A.M.の集まりを通じてクメール正月を盛大にお祝いしました。僧侶による祈祷、伝統的なゲーム、文化的なパフォーマンス、そして楽しい交流アクティビティなど、一日を通して喜びと感謝に満ち、たくさんの忘れられない思い出ができました。

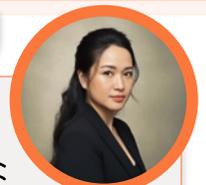


Peng Chanmony

協働的な環境、チームワークの精神、そして多様な考え方は本当に刺激的です。

第一ライフ・ミャンマー6周年記念

第一ライフ・ミャンマー



Mya Pyie Sone

今回のタウンホールは、6周年のお祝いだけでなく、私たちが共有する目的、方向性、そして日々注いでいる情熱を改めて実感する機会となりました。全社の仲間が一堂に会する姿を見て、これまでの成長と、「One DLMM」として一丸となったときの力強さを改めて感じました。



第一ライフ・ミャンマーは、6年間の成長を記念し全社タウンホールを開催しました。チーム間の連携をさらに強化し、「One DLMM」として、目的を持って共に歩む決意を新たにしました。

チーム・アウェイ・デイ

第一ライフ・カンボジア



第一ライフ・カンボジアでは、部署ごとに「アウェイ・デイ」を設け、オフィスを離れてリフレッシュし、チームの絆を深める機会を提供しています。各部署の社員は、社外の様々な場所でチームとともに貴重な時間を過ごします。チームの皆で楽しく過ごしている様子は、私たちが目指す、誰もが参加しやすく魅力的な企業文化を体現しています。



誰もが自身の居場所を見つけ、仲間とつながり、安心して活躍できるように、社員向けコミュニティやプラットフォームが活用されています。

グロース・ネットワーク

プロテクティブ



Wendy King

プロテクティブが時間やエネルギー、リソースをしっかりと投じて、これらのネットワークを支援していることが本当に誇らしいです！

私が会社の一員であることを誇りに思う理由のひとつは、グロース・ネットワークへの参加です。私はプライド・グロース・ネットワークで共同議長を務め、女性、黒人、介護者のネットワークにも関わっています。これらのネットワークは、メンバーにリソースやコミュニティ、成長の機会を提供しています。特に心に残るのは、意義ある対話ができるときや、メンバーから「人生に価値を与えてくれた」と言われる瞬間です。これらは私がここにいる意味を再確認させてくれます。プロテクティブが時間、エネルギー、リソースを投じてこれらのネットワークを支援していることを誇りに思います。そして、私自身がその一部として、社会に良い変化をもたらしていることに大きな意味を感じています。



グロース・ネットワークは、全社員が参加できる参加者主導のコミュニティです。ネットワークづくり、ビジネス・トピックに関する意識向上、専門能力開発を目的として、同じようなアイデンティティや人生経験を持つ仲間が集まります。

社員向けイントラネットの開設

第一ライフ・ミャンマー

社内イントラネットの立ち上げに関われたことを誇りに思います。これは、私たちのつながり方、協働の仕方、仕事の進め方を前進させるスマートな一歩です。人・情報・日常のツールをひとつに集約し、仕事をもっとシンプルに、スピーディーに、そしてつながりやすくします。



Me Me Myo Naing



会社全体のつながりを深めるため、新しいイントラネットプラットフォームが公開されました！この一元化されたハブを通じて、全社員が情報を受け取り、つながりを保ち、積極的に会社に関与することができ、コラボレーションがこれまで以上にシンプルで魅力的なものになります。





社員同士や、時にその家族も一緒に思い出に残る時間を過ごし、仲間との絆を深め組織への帰属意識を高めるイベントが開催されています。

オフィスオープン記念イベント

第一ライフ・アジアパシフィック

この特別なイベントを企画できたことは、大きな喜びでした。協力し、一緒にお祝いしてくれた皆さんに心から感謝します。チームワークのおかげで実現できました！



Ophilia Lai

新しく広くなったオフィスは、刷新されたブランドアイデンティティをしっかりと反映しています。新しいカラーやロゴが空間全体に取り入れられ、モダンで快適なデザインは、コラボレーションや働きやすさ、そして社員のウェルビーイングを大切にしています。このオフィス移転は、第一ライフのブランド刷新の取組みと歩調を合わせ

ながら、チームが成長し続け、最高のパフォーマンスを発揮できる環境づくりへのコミットメントを示しています。



このイベントは、新しく広いオフィスのオープンを祝う大きな節目となりました。明るく活気ある空間は、第一ライフの新しくなったブランドを体現しています。皆でお祝いしたことで、楽しい時間やつながりを共有し、エネルギーをチャージする忘れられない午後となり、私たちが新たなアイデンティティと共に前進する一歩となりました。

SUDライフ ファミリーデー

スター・ユニオン・第一ライフ



SUDライフ ファミリーデーは、社員とその家族が一堂に会し、SUDライフ ファミリーの温かさを感じられる特別なイベントです。職場を超えたつながりを深めることを目的に、楽しいアクティビティや文化パフォーマンス、ゲーム、インタラクティブな企画など、喜びに満ちた一日を提供しています。SUDライフでは、社員の家族も私たちの

大切な仲間であると考えています。このイベントは単なる催しではなく、私たちのインクルーシブな企業文化と、ともに歩む姿勢を体現するものです。





すべての人々が個性を認め合い、組織の一員として、お互いを尊重し、支え合いながら活躍できるインクルーシブな職場づくりに取り組んでいます。

第一ライフチャレンジド（障がい者の活躍推進）

第一ライフチャレンジド



事業部内の社員と協力して信頼を深めながら業務に取り組むことができ、達成感を得られる環境です。 小野 詩菜



データ入力業務を担当しています。期日内に業務を終わらせるために事業部内の社員と協力し、信頼を深めながら日々対応しています。期日内に業務を終えると達成感を得られ、とても嬉しいです。現在はトレーナーとして、業務手順を覚え、社員一人ひとりに合ったコ

ミュニケーションを大切にしています。皆に頼られることで喜びを感じています。第一ライフチャレンジドは、アビリンピック*出場やビルクリーニング技能士2級の資格取得時に練習時間や場所を提供してくれました。社員の応援もあり、積極的にチャレンジできる会社です。今後の目標はリーダーになることです。そのために一つひとつの仕事をこなし、社員から信頼されるトレーナーになりたいと思っています。

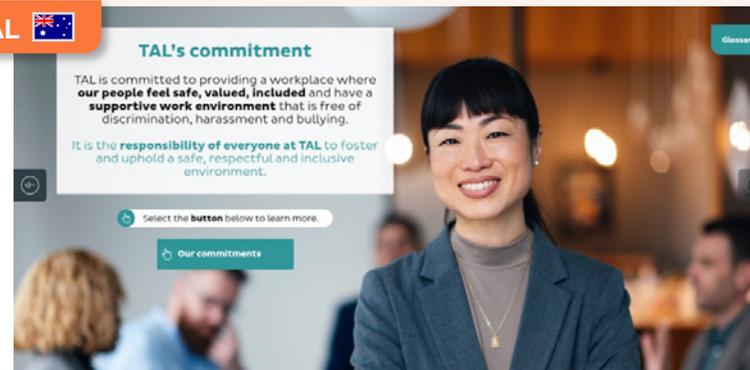
*障がいのある方々が日頃職場などで培った技能を競う大会



第一ライフチャレンジドでは、知的障がい者や精神障がい者を中心に雇用しており、400名超の社員が生き生きと仕事に取り組んでいます。仕事内容は事務サポート業務や印刷業務、清掃・整備業務、喫茶業務など幅広く、一人ひとりが個性を活かして働き、各々の能力と可能性を引き出すために、職場環境や働き方の工夫に取り組んでいます。

安心感があり、尊重し合える、インクルーシブな職場づくり

TAL



「TALの多様性への取組みは、採用方針、職場ポリシー、そしてすべての社員がインクルーシブな環境で働けるよう設計された各種施策に明確に表れています。」

— TAL従業員エンゲージメント調査より

TALでは、インクルージョンは全員の責任と考えています。すべての社員が必須のeラーニングを受講し、差別やハラスメント、いじめ、報復のない職場づくりにおける共通の役割を再確認するとともに、懸念事項の報告方法やサポートの受け方を学びます。これにより、職場が常に安心でき、尊重し合える、誰もが働きやすい環境を維持できるようにしています。さらに理解を深めたい方には、日常的にインクルージョンを促進するための実践的な戦略を学べる追加モジュールも提供しています。

TALでは、すべての人が活躍できる職場環境の構築に取り組んでいます。多様性、公平性、そしてインクルージョンは、どのような状況においても、オーストラリアの人々が選択肢と自由に満ちた人生を送れるよう支援するという私たちの使命の中核となるものです。私たちは、社員が安心感を持ち、尊重され、受け入れられていると感じられるとき、組織全体の能力を最大限に引き出し、顧客、パートナー、そして地域社会により良い成果をもたらすことができると確信しています。



すべての社員が主体的に参加し、働くことにやりがいを感じられる職場づくりに取り組んでいます。

ウィメンズ・デー・セレブレーション

第一ライフ・カンボジア



Kak Layheang

女性リーダーの声に触れることができた、非常に示唆に富むセッションでした。キャリア、家庭、そして経済的自立のバランスは実現可能であるだけでなく、自分自身をエンパワーしてくれるのだと、彼女たちの体験談から強く感じました。

国際女性デーにあたり、私たちは「経済的自立を通じて、女性に力を」をテーマに、女性の強さ・しなやかさ・可能性を称えるイベントを開催しました。女性リーダーによるパネルでは、働く母としての視点からキャリア形成や経済的安心について語られ、キャリア・家庭・経済的自立の両立は可能であり、私たちをエンパワーするものであることが示されました。



ダイバーシティとインクルージョンを推進し、様々な立場の女性社員のエンゲージメントと意欲を高めるイベントです。第一ライフ・カンボジアの経営陣は、スカーフの配布やメッセージの発信を行い、「女性の権利の日」のお祝いに参加しています。

Daiichi Life Group WOMAN'sデー

第一ライフグループ / 第一生命保険



3月の国際女性デー・女性の健康週間にあわせて例年イベントを開催しています。2024年度は、菊田G-CEOが多様な人財の活躍の重要性についてメッセージを発信し、ゲストスピーカーから、多様なライフと仕事の両立やワーク・ライフ・バランスが、組織成長に繋がることをお話いただきました。育休経験がある男性役員とのトークセッションでは、上司・部下が各々の立場で「自分にできること」等について意見を交わし、参加者が、お二方の経験からヒントを得て自らの行動を考える機会となりました。

女性社員のためのフォーラム - Urja

スター・ユニオン・第一ライフ



Urjaは、“エネルギー”を意味する名前のおり、組織における女性の力強さ・しなやかさ・可能性を称える、女性主導のパワフルな取組みです。参加者がインスパイアされ、自分らしい成長を描けるよう、エンゲージメント、学習、メンタリング等に焦点を当てた多彩なフォーラムを提供しています。女性たちが経験を共有し、知見を深め、前向きな一歩を踏み出すための活力を生み出す、活気あるプラットフォームです。



ステートメントに込められた「幸せ」の支援に関するポイント

Daiichi Lifeグループで働く人を考える

成長は、自分ひとりで成し遂げるものではありません。
私たちの100年を超える歴史と経験が教えてくれるように
成長とは、多くの仲間とのつながりの中で生まれるもの。

Daiichi Lifeグループは、あなたのパートナーとして
共に成長し、皆で高め合い、互いに成功を支援し

今も、そしてこれからもすべての人々の幸せを守り、高めます。

あなたがグループのどこにいても、そしてグループのどこへ行っても

私たちは共に歩み、皆ですべての社員が生き生きと個性を発揮し
活躍できる世界（World of Opportunities）の扉を開いていきます。

心と体の健康を保ち、
日々の仕事や生活を
生き生きと過ごすことの
できる安心・安全な
職場環境があります

Daiichi Life Group Employee Philosophy Statement



“働く”を通じて幸せになるために、グループ各社では瞑想セッションの実施や健康増進施設、リフレッシュルーム、ウェルネスアプリの提供など、心と身体の健康を向上させる取り組みを行っています。

メディテーションシリーズ

プロテクトィブ 



Dimica Dutton

セッションに参加することで、平穏でリラックスした気分で1日を過ごすことができます！

毎月開催の「メディテーションセッション」はとても有意義で、参加できることに感謝しています。なぜならセッションに参加すると、その日一日を平穏でリラックスした気持ちで過ごせるからです。毎月開催されるメディテーションセッションと、毎日会社が提供する「Calmアプリ」を積極的に活用しています。来年もぜひこの2つのプログラムを提供してほしいと思っています。

祈りや瞑想、内省に利用できる専用スペース「Quiet Room」で毎月30分の対面式メディテーションセッションを実施しています。チーム主導のセッションはリラックスとマインドフルネスに時間を割き、精神的な健康をサポートします。また、Calmと提携し、瞑想、睡眠導入用の物語、音楽、他のセルフケアリソースにいつでもアクセスできるアプリも提供しています。

ウェルビーイングの推進

TAL 



ウェルビーイング・ゲートウェイ・アプリ

オーストラリアの従業員支援プログラム(EAP)の大手プロバイダーAssureは、TALの社員とその家族にカウンセリング、ウェルネス・コーチング、ファイナンシャル・カウンセリング、法律相談、食事に関するアドバイスなどのサービスを提供しています。Assureは、TALの全社員に無料アプリ「ウェルビーイング・ゲートウェイ」をリリースし、健康や家庭、仕事と金銭に関する記事や、瞑想、人間関係作りに関する動画などを提供しています。



施設内フィットネス&ウェルネス

TALは社員の健康とウェルビーイングを大切に考えており、シドニーとメルボルンでは、社内にジムとウェルネスセンターを設置しています。社員は、様々な種類のジム設備、無料のフィットネスクラス、パーソナルトレーニングセッションを利用でき、ロッカー、浄水器、アメニティ付きのシャワーなどの設備も完備されています。さらに、更衣室にはドライヤーやアイロン設備も備え付けられており、すべてのスタッフが快適にフィットネスを楽しめるようになっています。

パートナーズ・ライフ 



ウェルネス・ルーム

パートナーズ・ライフのウェルネスルームは、スタッフが健康とウェルビーイングを実践するためのプライベートスペースです。祈りや瞑想、授乳のために利用されています。安全で清潔なアメニティも完備されています。



社員がいつも健康で幸せに働けるように、健康管理に関する講演会やキャンペーン、健康増進プログラムなどを実施しています。

インフルエンザ予防接種と世界メンタルヘルスデーの取り組み

第一ライフ・ミャンマー

インフルエンザ予防接種プログラムを企画してくれた会社に感謝しています。私たちの健康とウェルビーイングへの配慮が、確かな違いを生み出しています。



Thiha Phyo Myint



第一ライフ・ミャンマーでは、社員の健康とウェルビーイングを支援するため、6月に社内で季節性インフルエンザ予防接種を実施しました。全社的に高い参加率を実現し、より健康で強い職場づくりを継続できていることを嬉しく思います。

また、世界メンタルヘルスデーには、リラックスできるマインドフルネス体験や、ポジティブな気持ちを表すフォトプロップスを用いた楽しい写真撮影、リフレッシュできるヨーグルトの提供など、社員の心身の健康をサポートする取り組みを行いました。これらの活動を通じて、私たち皆のウェルビーイングを促進しています。



スポーツ&ウェルネスプログラムとメンタルヘルスセッション

第一ライフ・カンボジア



Khot Soviet

会社のフットボールチームに参加できて本当にうれしいです！リラックスし、活力を取り戻し、同僚との絆を深める素晴らしい機会となっています。このような素晴らしい健康増進の機会に感謝しています！

第一ライフ・カンボジアでは、社員のウェルビーイングは目に見えるものだけでなく、日々のケアやメンタルサポート、そして心身の健康を育む企業文化にあると考えています。

その考えのもと、当社のスポーツ・ウェルネスプログラムは、精神的・身体的・感情的な健康をサポートし、誰もが支えられていると感じられるよう設計されています。社員には、サッカー、ランニング、バドミントン、ヨガのセッションに参加する機会が提供されています。

さらに、世界メンタルヘルスデーを記念し、私たちのチームは「強いメンタルを育てる5つの小さな習慣」と題された刺激的なセッションに参加しました。このセッションでは、メンタル不調の兆候を見分ける方法、感情を動かす引き金となる要因への理解、心を守る習慣をつくること、そして長期的な精神的レジリエンスを支える一貫したルーティンの確立などについて、有意義な学びを得ることができました。





楽しく働くためには、心身の健康を保つことが大切です。グループ各社では、いじめについて考えるイベントやスポーツ大会などを開催し、健康増進に努めています。

ピンクシャツ・デー

パートナーズ・ライフ

私たちは職場でのいじめを許容せず、誰もが働きやすい環境づくりを続けます。



Kate Dordahan



ピンクシャツ・デーは、協力し合いながら働くことについて考えるイベントです。



この取組みを推進するため、当日は社員にピンク色のものを身につけ、ピンク色の焼き菓子コンテストなどの社内イベントに参加するよう奨励しています。また、いじめとは何か、いじめを経験したり目撃したりした場合にどこで支援を受けられるかを全社的に明確にしています。当社の社員はいじめの問題を真剣に受け止め、

ピンクシャツ・デーの取組みに積極的に参加しています。



学校、職場、家庭、オンラインにおけるいじめに対する理解を高めることを目的としています。この取組みは、ニュージーランドでは毎年5月の第3金曜日に実施されています。

Dlympic

第一生命ベトナム



今年、Dlympicの運営チームに参加したことは、価値あるネットワークを築く自信を深めることのできた、貴重な学びの機会でした。仲間との協力の一瞬一瞬が、学び、成長し、改善し続ける意欲を与えてくれました。この経験は第一生命ベトナムでの私のキャリアにおいて、大きな一歩になりました。



Le Quoc Chien



Dlympic 2025は、第一生命ベトナムの年次スポーツプログラム「Cung Đường Yêu Thương (バーチャルラン)」の目玉イベントとして、チームワークと一体感の力を称える場となりました。今回初めて、この全国規模のイベントが、お客様・パートナー・社員をスポーツへの情熱と協力の精神でつなぐ活気あるプラットフォームとなったのです。

イベントには700名以上が参加し、競技の腕前だけでなく、仲間との結束力を発揮しました。全国決勝には約300名のアスリートがチームを代表して挑みました。



この年に一度の全国イベントは、チームワーク、情熱、そして競争の精神を称える場です。お客様、パートナー、社員が一堂に会し、ワクワクするスポーツアクティビティを通じてつながります。



社員が心身ともに健康に働ける環境を整えるため、グループ各社ではウェルビーイングを促進するイベントを開催しています。

Well-beingデー

第一生命保険



栗原 結美

Daiichi Lifeグループで働いていることを誇りに思えるイベントでした。

Well-beingデーに小学校2年生の娘と参加しました。

最初は娘も重厚な建物に圧倒されていました。職場のみなさんがフロア内を風船などで飾りつけて歓迎してくださり、自分の名前が書かれた子供用の名刺をもらってとても喜んでいました。

職場の同僚や上司、役員の方々とも名刺交換を楽しみ、自宅に帰った後も嬉しそうに名刺を並べて夫に当日の様子を報告している姿が微笑ましかったです。



職場では家族の話題が増え、自宅では会社の話題が増えました。娘が「大きくなったらママみたいになる」と言ってくれたことがとても嬉しく、Daiichi Lifeグループで働いていることを誇りに思えるイベントでした。

家族にオフィスの雰囲気や働く姿を見てもらい、会社や仕事、そして共に働く仲間への理解を深めてもらうことを目的とした、毎年恒例の職場参観イベントです。社員同士はもちろん、職場のメンバーと家族との交流を通じて、相互理解の促進や社員・家族のWell-beingの醸成、さらには組織間のコミュニケーション活性化にも繋がっています。

SUDライフ スポーツ選手権

スター・ユニオン・第一ライフ



スター・ユニオン・第一ライフは、フィジカルな健康とメンタルの柔軟性を重視し、卓球・バドミントン・サッカー・クリケットなどを楽しむスポーツ大会を通じて、スポーツとウェルネスの文化を推進しています。これらのイベントは、チームスピリット、エネルギー、仲間意識を祝福する機会です。毎年、社員の圧倒的な熱意と積極的な参加によって、当社の活気ある職場文化を象徴する取組みとなっています。

第一ライフ・ヨーロッパ × Canyon Partners フットサル大会

第一ライフ・ヨーロッパ



第一ライフ・ヨーロッパではキャニオン・パートナーズ・グループのロンドン事務所メンバーとフットサル大会を実施しました。この日のために用意したユニフォームを着用し、1時間超に亘る熱戦を展開！終了後には両チームとも健闘を称えあい、貴重なグループ会社間の交流機会となりました！

グループ各社の様々な取り組み

Daiichi Lifeグループ各社では、多種多様な取り組みが行われています。
ここでは各社で展開しているユニークなプログラムを一部抜粋して掲載しています。



SUDライフ アカデミー

SUDライフ アカデミーは、社員の成長を応援する学びの場で、リーダーシップ、テクノロジー、スキルの3つのスクールを通じて幅広い学習機会を提供しています。11,000時間以上にわたる厳選されたコンテンツに加え、体験型学習や仲間同士の知識共有を取り入れ、スキルアップと将来への準備をサポートしています。



スター・ユニオン・第一ライフ



柔軟な働き方で活気のある職場に!

第一ライフ・ノースアメリカのイベントには、プロテクティブ、Canyon Partners、シリコンバレーラボのメンバー、および米国の大学に在籍する社員も参加し、交流の機会を得ています。



第一ライフ・ノースアメリカ



ボーナスポイント - カイゼンアプリ

ボーナスポイント - カイゼンアプリは、第一生命ベトナムの成長とイノベーションの文化を育む取り組みです。社員が主体的にアイデアを共有し、業務プロセスの改善や生産性を向上を支援すると同時に、すべてのアイデアがきちんと受け止められ、評価され、認められる仕組みを整えています。改善提案の積極的な採用・実行を通じて、アイデアを組織全体に広がる大きな変化へとつなげています。



第一生命ベトナム



エコバッグの導入

プロテクティブでは、バーミングハム本社でエコバッグを導入し、社員が食堂や地元の食料品店などで使い捨て袋を使用する機会を減らすよう促しています。



プロテクティブ



インターンシップ第2期

新卒採用の第2期生を、6か月間の有給インターンシッププログラムに迎えました。実践的な経験を積み、スキルを磨き、実際のビジネスプロジェクトに触れることで、成長と将来のキャリア形成をサポートしています。



第一ライフ・ミャンマー



Daiichi Wayイベント

APオフィスの「Daiichi Wayチーム」は、年間を通じてさまざまな活動やイベントを企画しています。イベントを通じて社員はお互いを称え合い、仲間意識を育むことができます。



第一ライフ・アジアパシフィック



先住民族コミュニティとその社員の支援

TALは、先住民コミュニティと調和した未来づくりに貢献しています。協調活動計画の実施、遠隔地でのボランティア活動、そしてCareer TrackersやSupply Nationとのパートナーシップを通じて、アボリジニおよびトレス海峡諸島民の経済的自立を支援しています。



TAL



ボランティアプログラム

パートナーズ・ライフでは、すべての正社員に年間1日の有給ボランティア休暇を提供しています。社員同士や地域社会とのつながりを深め、意義ある貢献を通じて関係性を強化するため、チームでのボランティア活動を推奨しています。



パートナーズ・ライフ

このブックレットに掲載されている活動は、世界中のグループ各社の支持・協力のもとに積極的に推進されています。



本誌は、グローバル・ジョブポスティングを通じて結成されたプロジェクトチームを中心に、各国のグループ会社の多大な協力を得て制作されました。



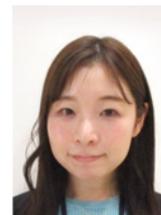
Liz Hartline
(プロテクティブ)



Connie Dolianitis
(TAL)



長町みどり
(第一ライフグループ本社)



兵頭奈緒
(第一ライフグループ本社)

会社	国	取組み	ページ
株式会社第一ライフグループ* (本社)	グローバル	グローバル・ジョブポスティング	P8
		デジタルイノベーションファンド (DIF)	P9
		グローバルリーダーシッププログラム (GLP)	P11
第一生命保険株式会社	日本	Daiichi Life Group WOMAN'sデー	P23
		Well-beingデー	P28
第一ライフチャレンジ株式会社*	日本	第一ライフチャレンジ (障がい者の活躍推進)	P22
プロテクトティブ	アメリカ	プロテクトティブ財団コミュニティサービス	P14
		グロース・ネットワーク	P20
		メディテーションシリーズ	P25
		エコバッグの導入	P29
TAL	オーストラリア	TAL 新入社員研修 (2年間OJTプログラム)	P10
		安心感があり、尊重し合える、インクルーシブな職場づくり	P22
		ウェルビーイング・ゲートウェイ・アプリ	P25
		施設内フィットネス&ウェルネス	P25
		先住民コミュニティとその社員の支援	P29
パートナーズ・ライフ	ニュージーランド	マネー月間チャレンジ	P16
		ウェルネス・ルーム	P25
		ピンクシャツ・デー	P27
		ボランティア プログラム	P29
第一生命ベトナム	ベトナム	InsightXシリーズ	P12
		グリーンジャーニー	P17
		Dlympic	P27
		ボーナスポイント - カイゼンアプリ	P29
第一ライフ・ヨーロッパ*	イギリス	第一ライフ・ヨーロッパ × Canyon Partners フットサル大会	P28

会社	国	取組み	ページ
第一ライフ・カンボジア	カンボジア	FlashLearn	P12
		Eラーニングポータル	P12
		Run By Heart charity run	P14
		アンコール小児病院 (AHC) への寄付	P15
		クメール正月のお祝い	P19
		チーム・アウェイ・デイ	P19
第一ライフ・ミャンマー*	ミャンマー	ウィメンズ・デー・セレブレーション	P23
		スポーツ&ウェルネスプログラムとメンタルヘルスセッション	P26
		口唇裂・口蓋裂プロジェクト	P16
		第一ライフ・ミャンマー6周年記念	P19
スター・ユニオン・第一ライフ	インド	社員向けイントラネットの開設	P20
		インフルエンザ予防接種と世界メンタルヘルスデーの取組み	P26
		インターンシップ第2期	P29
		SUDヤングリーダーシップ・プログラム	P10
スター・ユニオン・第一ライフ	インド	献血ボランティアキャンプ	P15
		Dhartiプロジェクト	P17
		SUDライフ ファミリーデー	P21
		女性社員のためのフォーラム - Urja	P23
スター・ユニオン・第一ライフ	インド	SUDライフ スポーツ選手権	P28
		SUDライフ アカデミー	P29
第一ライフ・ノースアメリカ*	アメリカ	柔軟な働き方で活気のある職場に!	P29
第一ライフ・アジアパシフィック	シンガポール	リージョナル・ストラテジック・リーダーシッププログラム	P11
		オフィスオープン記念イベント	P21
		Daiichi Wayイベント	P29

*2026年4月より記載の社名へ変更